

防災フォーラム

3.11東日本大震災と濃尾地震の教訓から 巨大地震災害に備える

平成23年12月22日(木)13:00~17:00

長良川国際会議場 4F大会議室 入場無料

今年3月11日には東日本大震災が発生し、今なお多くの行方不明者がおられ、被災した町は、いまだ復興・復旧には具体的な目処がたたない状況です。

また、今年10月28日には、濃尾地震災害120年を迎えました。

一方で、当地域は、東海・東南海・南海の三連動地震や内陸直下型地震の発生が危惧されているところです。我々防災担当者は、その事例に学び教訓として新たな対応力を養い、今後の発生するであろう巨大地震の対応に伴う社会資本整備(道路・橋・堤防)のを担っております。また、岐阜県は県土の多くが山地であり、土砂崩壊等の被害についても対策が必要であります。

これらの課題を鑑み、行政の役割としての課題の共有化を図り、防災力の強化に向けてフォーラムを開催するものです。

プログラム

- 13:10~13:15 開会挨拶
- 13:15~13:50 講演「東日本大震災と濃尾地震の被害を踏まえた岐阜県内での巨大地震へのあり方」
杉戸 真太(岐阜大学副学長)
- 13:50~14:05 濃尾地震調査報告 (社団法人中部建設協会河川技術部長)
- 14:05~14:25 岐阜県での巨大地震に対する取組 (岐阜県 県土整備部部長)
- 14:25~14:55 巨大地震に対する取組(内陸部で地震を受けどう対応したのか)
(国土交通省東北地方整備局 企画部長)
- 14:55~15:25 過去の地震災害事例を踏まえた耐震対策について (土木研究所 上席研究員)
- 15:40~16:55 パネルディスカッション「迫り来る巨大地震対応」
コーディネーター 杉戸 真太(前掲)
パネリスト 国土交通省中部地方整備局 企画部長
土木研究所 上席研究員
岐阜県 県土整備部部長
岐阜市副市長
岐阜県建設業協会 緊急防災隊本部委員会 委員長

16:55~17:00 閉会挨拶

○主催:実行委員会形式

木曽川上流河川事務所 岐阜国道事務所 越美山系砂防事務所
岐阜県内(西濃・美濃域)沿川・沿道市町(木曽川上流、岐阜国道、越美山系砂防)

○共催:中部建設協会、岐阜県建設業協会、岐阜県測量設計業協会

○後援:土木学会 中部支部

※全国土木施工管理技士会CPDS対象講習(申請中)

※土木学会CPD認定講習

実行委員会問い合わせ先

木曽川上流河川事務所 TEL:058-251-1321 FAX:058-251-4301

岐阜国道事務所 TEL:058-271-9811 FAX:058-271-3175

越美山系砂防事務所 TEL:0585-22-2161 FAX:0585-22-2174